

自転車の安全利用キャンペーン等に参加

～自転車利用者をはじめとした交通ルールの遵守と交通マナーの実践を周知啓発～

日本損害保険協会九州・沖縄支部（委員長：小泉 謙一 三井住友海上火災保険株式会社 執行役員）は、3月31日（火）に「天神地下街 8番街石積みの広場」で開催された、自転車の安全利用キャンペーン等に参加しました。同キャンペーンは、自転車の交通違反に対する交通反則通告制度（青切符）が4月1日から導入されることに伴う、自転車利用者をはじめとした交通ルールの遵守と交通マナーの実践の周知・啓発を目的としております。

主催者を代表し、福岡県警察 井上 智之 交通部長から、「4月1日以降は自転車の交通違反に対する交通反則通告制度、いわゆる青切符が導入され、一定の交通違反には反則金の納付が求められる。制度導入を自転車の安全利用を考えるきっかけにしてほしい。引き続き、広報啓発および取り締まりを行っていく。」と挨拶があった後、街頭活動が行われました。

街頭活動では、歩行者に日本損害保険協会作成の「自転車事故の実態と備え」を含むチラシ等を配布し、自転車事故防止に向けた交通安全を直接呼びかけました。

九州・沖縄支部委員会では、今後も福岡県警察や関係機関と連携し、交通事故防止の啓発等を通じて、地域の安全・安心の向上に資する活動を実施してまいります。



井上交通部長からの挨拶の様子



街頭活動の様子



配布した啓発物